

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公表番号】特表2014-519957(P2014-519957A)

【公表日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-044

【出願番号】特願2014-517196(P2014-517196)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/10 (2013.01)

A 6 1 L 29/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 1 0 H

A 6 1 L 29/00 W

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カテーテルバルーンであって、

バルーン作用長さと、拡張および非拡張直径とを有する、膨張可能な医療用バルーンと

、

長さと、拡張および非拡張直径とを有する、バルーンカバー

とを備え、

前記バルーンカバーは第 1 および第 2 の部分を含み、前記第 1 および第 2 の部分の各々は、その先細端部の頂点に位置している開口部を有する先細端部に一体的に連結されている作用長さを有し、および、

前記第 1 および第 2 の部分の前記先細端部は、前記バルーンカバーの互いに反対側に位置した端部に位置しており、および、前記バルーンカバーの前記第 1 および第 2 の部分の前記作用長さが、前記バルーン作用長さの少なくとも大部分において重なり合い、前記バルーンカバーは、前記医療用バルーンに接着されている、カテーテルバルーン。

【請求項 2】

前記第 1 および第 2 の部分の前記作用長さの少なくとも一部分が重なり合う請求項 1 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 3】

1 つまたは複数の中間カバー部分をさらに備え、前記第 1 および第 2 の部分は互いの間に間隙を画定し、前記中間カバー部分は前記間隙を架橋し、および、前記第 1 および第 2 の部分の一部分と重なり合っている請求項 1 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 4】

前記中間カバー部分は、前記第 1 および第 2 のバルーンカバー部分の直径よりも小さい段付きの直径を画定する請求項 3 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 5】

前記中間カバー部分は、前記第 1 および第 2 のバルーンカバー部分の直径よりも大きい段付きの直径を画定する請求項 3 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 6】

前記中間カバー部分は、前記第 1 および第 2 のバルーンカバー部分の直径よりも大きい、より大きな段付きの直径を画定し、および、前記より大きい段付きの直径は、前記段付きの直径の円周に沿った溝を画定する請求項 3 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 7】

医療用バルーンは非順応性バルーンである請求項 1 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 8】

前記医療用バルーンは順応性バルーンである請求項 1 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 9】

前記バルーンカバーはフィブリル化材料を含む請求項 1 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 10】

前記フィブリル化材料は e P T F E である請求項 9 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 11】

前記 e P T F E 中のフィブリルは半径方向に方向配置されている請求項 10 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 12】

前記バルーンカバーは、互いに接着している e P T F E のストリップから作られている請求項 10 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 13】

前記ストリップは、前記バルーンカバーの前記作用長さと前記先細端部との上に複数の角度方向配置の形で配置されている請求項 12 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 14】

前記バルーンカバーは前記医療用バルーンに接着されている請求項 1 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 15】

前記バルーンカバーの第 1 および第 2 の部分は、バルーン肩部の一部分を覆う請求項 1 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 16】

前記バルーンカバーの前記拡張直径は前記医療用バルーンの前記拡張直径よりも小さい請求項 1 に記載のカテーテルバルーン。

【請求項 17】

バルーンカバーであって、

長さ、非拡張および拡張直径と、第 1 および第 2 の部分とを備え、および、前記第 1 および第 2 の部分の各々は、その先細端部の頂点に位置している開口部を有する先細端部に一体的に連結されている作用長さを有し、および、前記第 1 および第 2 の部分の前記先細端部は、このバルーンカバーの互いに反対側に位置した端部に位置しており、および、前記第 1 および第 2 の部分の作用長さは、このバルーンカバーの前記長さの少なくとも大部分と重なり合うバルーンカバー。

【請求項 18】

前記第 1 および第 2 の部分の前記作用長さの少なくとも一部分は重なり合う請求項 17 に記載のバルーンカバー。

【請求項 19】

さらに、1 つまたは複数の中間カバー部分を備え、前記第 1 および第 2 のバルーンカバー部分は互いの間に間隙を画定し、および、前記中間カバー部分は前記間隙を架橋し、および、前記第 1 および第 2 のバルーンカバー部分の一部分と重なり合っている請求項 17 に記載のバルーンカバー。

【請求項 20】

前記中間カバー部分は、前記第 1 および第 2 のバルーンカバー部分の直径よりも小さい段付きの直径を画定する請求項 19 に記載のバルーンカバー。

【請求項 21】

前記中間カバー部分は、前記第 1 および第 2 のバルーンカバー部分の直径よりも大きい段付きの直径を画定する請求項 19 に記載のバルーンカバー。

【請求項 22】

前記中間カバー部分は、前記第 1 および第 2 のバルーンカバー部分の直径よりも大きい、より大きな段付きの直径を画定し、および、前記より大きい段付きの直径は、前記段付きの直径の円周に沿った溝を画定する請求項 19 に記載のバルーンカバー。

【請求項 23】

前記バルーンカバーはフィブリル化材料を含む請求項 17 に記載のバルーンカバー。

【請求項 24】

前記フィブリル化材料は e P T F E である請求項 23 に記載のバルーンカバー。

【請求項 25】

前記 e P T F E 中のフィブリルは半径方向に方向配置されている請求項 24 に記載のバルーンカバー。

【請求項 26】

前記バルーンカバーは、互いに接着している e P T F E のストリップから作られている請求項 24 に記載のバルーンカバー。

【請求項 27】

前記ストリップは、前記バルーンカバーの前記作用長さと前記先細端部との上に複数の角度方向配置の形で配置されている請求項 26 に記載のバルーンカバー。

【請求項 28】

前記バルーンカバーは、拡張および非拡張直径を備える医療用バルーンに接着されている請求項 17 に記載のバルーンカバー。

【請求項 29】

前記医療用バルーンは非順応性バルーンである請求項 28 に記載のバルーンカバー。

【請求項 30】

前記医療用バルーンは順応性バルーンである請求項 28 に記載のバルーンカバー。

【請求項 31】

前記バルーンカバーの第 1 および第 2 部分は、バルーン肩部の一部分を覆う請求項 28 に記載のバルーンカバー。

【請求項 32】

前記バルーンカバーの前記拡張直径は前記医療用バルーンの前記拡張直径よりも小さい請求項 28 に記載のバルーンカバー。

【請求項 33】

バルーンカバーであって、
長さと、
第 1 の部分と、
第 2 の部分と
非拡張および拡張直径と、
第 1 および第 2 の端部を備える中間区域
とを備え、

前記第 1 および第 2 の部分の各々は、その先細端部の頂点に位置している開口部を有する先細端部に一体的に連結されている作用長さを有し、および、前記第 1 および第 2 の部分の前記先細端部は、バルーンカバーの互いに反対側に位置した端部に位置しており、および、前記中間区域の前記第 1 の端部は前記第 1 の部分の前記作用長さと重なり合い、かつ、前記中間区域の前記第 2 の端部は前記第 2 の部分の前記作用長さと重なり合うバルーンカバー。

【請求項 34】

前記バルーンカバーはフィブリル化材料を含む請求項 33 に記載のバルーンカバー。

【請求項 35】

前記フィブリル化材料は e P T F E である請求項 34 に記載のバルーンカバー。

【請求項 3 6】

前記 e P T F E 中のフィブリルは半径方向に方向配置されている請求項 3 5に記載のバルーンカバー。

【請求項 3 7】

前記バルーンカバーは、互いに接着している e P T F E のストリップから作られている請求項 3 5に記載のバルーンカバー。

【請求項 3 8】

前記ストリップは、前記バルーンカバーの前記作用長さと前記先端部との上に複数の角度方向配置の形で配置されている請求項 3 7に記載のバルーンカバー。

【請求項 3 9】

前記バルーンカバーは医療用バルーンに接着されている請求項 3 3に記載のバルーンカバー。

【請求項 4 0】

前記バルーンカバーの前記拡張直径は医療用バルーンの前記拡張直径よりも小さい請求項 3 9に記載のバルーンカバー。

【請求項 4 1】

前記中間区域は、前記第 1 および第 2 の部分とは異なる材料から作られている請求項 3 3に記載のバルーンカバー。

【請求項 4 2】

前記中間区域は e P T F E から作られている請求項 3 3に記載のバルーンカバー。

【請求項 4 3】

前記バルーンカバーがその拡張直径の状態にある時に、前記中間区域は、砂時計形、三角形、正方形、長方形、楕円形、または、他の多角形から成るグループから選択される形状を前記バルーンカバーに与える請求項 3 3に記載のバルーンカバー。